

検討方法

- 資料 6 の主な検討事項、各委員のご意見及び検討を進める中で検討が必要となった事項について、実態調査結果及びこれまでの事案等における教訓や課題などを踏まえ、これに対応した取組や技術・手法等に関する調査・研究を行う。
- これらの調査・研究結果に基づき、要救助者をより安全・確実・迅速に救助するための手法や日頃の実践的な教育訓練、関係機関との効果的な連携などについて検討するとともに、この検討結果を踏まえ、「地下閉鎖空間における救助技術の高度化」の充実及び見える化を目指す。

スケジュール(案)

- 第 1 回【8 月 5 日】：実態調査結果、近年の事案の傾向、検討の進め方等
- 第 2 回【10 月上旬】：課題の検討、作業部会検討項目
- 第 3 回【12 月上旬】：報告書・マニュアル骨子（案）の検討、作業部会の結果、海外の取組事例の報告等
- 第 4 回【2 月上旬】：報告書・マニュアル（案）の検討

※ 作業部会については次頁参照

検討会における作業部会について

検討会における技術的な検証について、先進的な取組を実施している消防機関や先進的な技術を有する専門家等からなる「作業部会」を事務局に設置する。作業計画は、各委員のご意見を反映し、各委員のご協力を得て検証・実証を行い、救助活動技術の充実及び見える化を図る。

検証項目（案）

- 地下閉鎖空間における効果的な救助活動技術について（低所への進入・脱出技術、救助技術等）

作業部会のスケジュール（案）

検討会

作業部会

